



カトリック町田教会
町田市中町 3-2-1
電話 042-722-4504
FAX 042-722-4512

いかずちの子

<http://www.machida-catholic.jp/>



しかし、主の日は盗人のようになってきます。
…あなた方は聖なる、信心深い生き方を送らなければなりません。…わたしたちは、神の約束によって、義の宿る新しい天と新しい地を待ち望んでいます。…平和のうちにありように努力しなさい。わたしたちの主の忍耐強さは救いてあると考えなさい。(2ペトロ3:10-15)

植物と人に必要なもの

主任司祭 小池 亮太

梅雨の間、ひと雨毎に葉の数を増やし、緑を濃くした植物たちは、いま、夏の強い日の光を受けながら風に吹かれ、その葉を煌めかせています。
このように、植物が成長していくには水と光が必要ですが、その他に養分も必要とします。そのため、農業を生業とする人は、育てるものに合せて畑に肥料を施します。自分の家で植物を育てている人も肥料を与えますが、時期

ら大量に、大きく形の揃った野菜を収穫するために、肥料がたくさん施され、病害虫の発生を抑えるために様々な農薬が散布されます。
逆に、肥料を施さずに育てると、収穫量が減り、小さく、形も悪くなりますが、痛みにくく、そのもの本来の味や香りのする野菜が穫れます。そして、病害虫もほとんど発生しないので農薬も必要なくなります。このような農業のやり方は、美味しく安全な農作物を作るだけでなく、大量の肥料や農薬が、川や湖に流出して、大きな問題になることもないので、自然に優しい方法と言えます。
さて、人間に置き換えて考えてみると、どうでしょうか。……。人も生きていくために栄養が必要です。バランスの取れた食事をし、適度の運動をして、規則正しく生活をしていけば、その人は健康を保ち、自分のすべきことをきちんと行うことができます。しかし、不規則な生活をし、必要以上の栄養を偏って摂って、運動もしないでいると、病気になるります。その結果、何種類もの薬を飲みながら不快な日々を送り、その人ができるはずのことも十分にできなくなってしまう。

にはお金も必要です。そして、お金をたくさん持つことは、幸せなことのように見えます。ところが、富だけでなく権力も同じですが、それらが必要以上に持つと、様々な人たちが周りに集まってくる。けれど、彼らの目的は権力や富によってもたらされる何かです。もし、富や権力を失って利用価値が無くなれば、彼らは離れ去り、残されるのは、持っていたものに執着し続け、自分の人生を呪う、惨めな一人の人だけです。
自然界に生えている植物は、人の手によって畑に植えられたものとは違い、肥料を施されることも、農薬を散布されることもありません。しかし、必要な養分を大地から吸収し

主のみ旨のままに

運営委員 木原 南二

私は十三歳の時に受洗して以来五十七年間、愚かなる信者として神様を煩わせようとして生きてきました……不肖の息子ほどかわいいなんて勝手に決め込んで。そして長いながらい現役時代を終えてやあら「神様、わたくし七十歳になり終章に近づいてまいりました。仕事もリタイアしたことで今後はまじめに教会にまいります」。恥ずかしながらいこう申し上げると神様は

ながら成長し、花を咲かせ、実を結びます。私たちも同じように、自分の人生において神から与えられるものをしっかり受け取ることができたら、与えられた命を自分らしく、清く、美しく、そして豊かに生きることができましょう。また、必要以上のものを欲しがらないこと、そして、持たないことは、自分にとっても、世界にとっても良いことです。
昨年、私が肥料を与え過ぎたせいで調子を崩していた植物たちが、何も与えなかった今年は勢いよく伸び、艶やかな葉を風に揺らしているのを眺めながら、そのようなことを考えていたのでした。

であるう今後であります。何をなすべきか？ 何が出来るであろうか？ 町田教会の諸先輩方を拝見しますに、熱意と活力にあふれた活躍に尊敬と羨望を覚えつつ、われは無能さに愕然としているこの頃でございます。そんなところに運営委員会をやってみるとのお誘いを受けまして、軽薄にもお受けした次第でございます。教会の組織やその中の運営委員会の立ち位置など知らずに飛び込んでびっくり！ でありましたし、反省と後悔の数日でした。

でも生来の楽観主義、なんとかなるだろうで心機一転やる気だけは満ち満ちてまいりました。十三歳の時一人ぼつんと受洗したのが主のみ旨、お導きであるならば、今回のことだって何だってみ旨のままにとの開き直りでありませう。ひたすら委員会の先輩諸氏のお荷物となりつつも、一日も早く一人前にと末席に座して皆さんのご発言を拝聴しております。

いえ、聞くだけではございませんよ、発言だってしております。ただ少々ピントがずれているものですから、恥ずかしながら皆様とかがみあわなないのであります。

今年度から委員の定数が削減され、各員の任務負担がよ

り重くなり教会の発展のため手抜きは許されません。私があるような重大な任務に耐えられるか不安ですが、事の判断基準を 神の義 と定め、これだけはぶれずにやってまいりたいと考えております。どうぞ宜しくお願い致します。

ヨゼフ会の静修会
(黙想会) に参加して
神谷 高雄

今年の静修会は特に充実した会だった。それは内容の豊かさや限られた時間を有効に更に円滑な進行にあつたと思う。これは幹事氏のご尽力によるもの。

一、菅原助祭の講話「放蕩息子」のたとえ(ルカ福音書一五章)をギリシャ神話など数々の挿話を交えて話された。おだやかな口調の中に説得力のある魅力的な話に感動した。私は思う。弟の放蕩息子は自分の罪に気づき父のもとに帰って行った。一方いつも父と共にいて従順に仕えてきた兄。この真面目な兄は身勝手な弟と、更にこの弟の帰還を喜ぶ父を受け入れることが出来なかった。

私は両者を背負っている。道から逸れる者を神は忍耐強く導かれる。そして確かな道に立ち帰るまでじつと見守つておられる。

カトリック釜石の報告会

キリストだったらどうしたか？ とはなんでも受け入れよう！

聖堂の壁面に写した画面を見ながら今までの経過を報告

2011年3月15日
カトリック釜石教会・遠野教会の有志の炊き出しからスタート

2013年3月
NPO法人化

釜石教会の隣に新しく建設！2014年6月7日

「カトリック釜石」新ベース
オープンハウス 1F

2F 事務室

ボランティアの宿泊スペース
多目的ホール

「のらぎ★かだつ」インターネットカフェ

自由に使えるパソコン完備

ボランティア

岩手県釜石に拠点を置き、東日本の大震災の被害を受けた地域の復興支援や市民活動をしているNPO法人カトリック釜石の伊瀬聖子さん(副理事長)による報告会をルポ(池永)

2011年4月2日
仙台教区サポートセンター

「カトリック釜石」活動

釜石教会

釜石教会の隣に新しく建設！2014年6月7日

「カトリック釜石」新ベース
オープンハウス 1F

2F 事務室

ボランティアの宿泊スペース
多目的ホール

「のらぎ★かだつ」インターネットカフェ

自由に使えるパソコン完備

ボランティア

世界中からの善悪や祈りを直接被災地につなげる為にはいつもそこに居る存在が欠かせない！

伊瀬聖子さん

後半は信徒ホッと軽食をとりながら懇談会

現地のビデオも見る

震災時盛岡市内から3日後に自宅に戻る

釜石教会で炊き出しをしているのを知りかけたのがきっかけ！

震災を風化させない！共に寄り添う活動を！

ボランティアさんお気軽にご参加下さい！

釜石が気に入る！何回も行く！！

★ふいりあ=PHILIA・ギリシャ語・友愛、総合協力
★かだつ=釜石の方言・「いっしょにやりませんか？...やろう！みんな集まって！」

お問い合わせ先
特定非営利活動法人 カトリック釜石 事務局
〒026-0022岩手県釜石市大只越町2-4-4
E-mail kamaishi311@gmail.com
ホームページ http://www.ccaritaskamaishi.com

TEL 0193-27-9030
FAX 0193-27-8070



▲初聖体 (6/22)

祭壇を囲む初聖体の子供たち

▼堅信式 (7/6)

式後、岡田大司教を囲んで



二、小池神父の講話。今日は「復活節第六主日」。神父はこの日の意味について聖書(ヨハネ福音書一四章)から文章の構造を分析しながら分かりやすく丁寧に説かれた。主イエスは最後の晩餐の席で、「自分が去ったあとと弟子たちの不安と恐れを除くために、「あなた方をみなしこにはしておかない」、「父なる神は別の弁護者(聖霊)を遣わして永遠にあなた方と一緒にいるようにして下さる。この方は真理の霊である」と約束された。この出来事は弟子たちだけではなく、神を畏れ愛する者たち、更にはすべての人々に約束された。

即ち、神は全人類を救済するという大きな計画の中で、イエスが去ったあとと聖霊によって神のご意志、御心が教会を通して人々の前に示されるようにされた。

だから私も主日にはミサに与り、「生けるキリスト」に出会い、そのご聖体を拝領することが許される。これこそが神の恵みの業。感謝。

三、ミサは聖堂で厳肅に。黙想もその静けさの中でおもいおもいに。また分かち合い、懇親会、どれもが熱の入ったものとなった。

もうひとつ夕食の食卓を飾ったのはベトナム料理。修道院にはベトナムの方々が多くおられる。母国の手料理のモチなしは嬉しかった。

この度の二日間の静修会は楽しい交わりのときであった。

被災地の「観光」

町田教会被災地支援センター
立木 欣吾

教会で被災地を訪問したという話を耳にすることがあります。今回は、今年の五月の連休明けに、宮城県の南三陸に一泊二日で「観光」に行つた五ブロックの小林洋子さんからお聞きした話です。小林さんは、南三陸出身の友達から勧められて、震災前からずつと行つてみたいと思つていたのでそうです。

南三陸へは、新幹線で仙台まで三時間、それからホテルの送迎バスで二時間、合計五時間。費用は宿泊を含め四万円弱です。宿泊施設は山の上にある千三百人を収容する大規模なホテル。震災では倒壊等の被害はなかったものの、津波で二階まで浸水し、水道電気などのライフラインは断たれました。それでも、震災直後は約六百名もの人の避難所となつていたそうです。

ホテルで宿泊した翌日、自らも被災者となつたホテルスタッフが「語り部」となつて、当時の様子を伝える語り部バスを用意していました。当日の乗車は三台、一五〇人、今まで案内したお客様は延べ三万人にのぼります。

小林さんの乗つたバスの話

語り部は四歳の子供(震災当時一歳)を持つ若いお父さん。市営住宅の四階に住んでいた家族は屋上に逃げたので、亡くなった人はいませんでした。津波で市営住宅は住めなくなり、仮設住宅に居住。南三陸では、土を盛り上げて街を作り直そうとしていますが、人手不足、資材不足でなかなか進みません。街の復興が遅れる中で、地元の家を持ちたくても持てないため、故郷を離れる人も多いとのこと。

語り部の方から、一つだけ注意してくださいと言われたことがあります。被災地を視察中、鉄骨だけが残つた防災支援センターに立ち寄つた際、建物の写真は撮つてもいいけれど記念写真は撮らないで下さい。住民に津波の避難警報を出し続け、四十六名もの人が亡くなつた建物の横で、ピースサインで写真を撮られることは耐えられなかったのでしょうか。

小林さんは、「たくさんの人がここで亡くなったこと、辛い思いを抱えながら生きている人がいることを忘れてはならない」と強く思われたそうです。最後に語り部の方から、「復興支援と構えずに、遊びに来てくださるだけでうれしいです。日本のみなさんがこの災害を忘れていないと

思えることで心が強くなって、頑張ろうという気持ちになれます。被災直後の有り様は二度と思い出したくないのが本音ですが、語り継いでいかねばならないと取り組んでいます。皆さんも東京に戻つたら、被災地で見たと、聞いたことを是非伝えてください」と力強く語ってくれたそうです。

ホテルの窓から遠く広がる水平線は、どこまでも優しく穏やかだったそうです。

301号掲載の「実行体制」に誤記がありました。お詫びして次の通り訂正いたします。

- 実行体制(Ⅰ)
- 教会業務担当兼運営委員
鈴野将 木原南二
- 管理委員長兼運営委員
荻津兆秀 大木雅信
- 生涯養成委員長兼運営委員
前島千佳子 水野貴久子

ご紹介いたします



のぐちくひろ野口邦大神学生

神学院の夏期休暇中(7月19日~9月12日)町田教会に滞在される。

終戦記念寄稿

私の原爆記

岡野 道子

昭和二十年八月六日、女学校二年生の私はすでに学徒動員で、軍に関わる印刷工場で働いていた。八時十五分、朝礼の真最中で、戦意を昂揚する歌を歌っていた。「ああ、愛国の血は燃える。我ら乙女の挺身隊……」

我が家も学校も爆心地から五百メートル圏内にあり、どちらにいても命はなかった。二キロの地点で左から強い熱戦を受け、顔と首にやけどをした。人はその様子を容易に想像できると思うが、心を受けた傷みまで理解できるはずもない。

翌日、やっと小五の弟にめぐり会えた時のこと。十人ぐらいの瀕死の大人の中にひとり、弟と年恰好の似た子がいた。全身やけどで一糸まともなく、顔は風船のようにふくれ、唇は厚くむくれ、目は糸のようになんて細く一直線であった。もしやと思つて見つめていると、その子は全身の力をふりしほつて、かすかに私にほほえみかけた。弟の変わりにはてた姿に、驚きと怖ろしさで立ちすくんでしまった。「家に帰つて誰かを呼んでくるからね」という希望と励ましの言葉も

声にならない。私はなすすべもなく、その場を去った。見殺しにして逃げたという自責の思いを、何十年も誰にも言えなかった。小二の弟は全身赤黒くやけどげて、水が少し残った水槽の中でうつぶせになつて死んでいた。さぞ熱かつたのであろう。

六月中旬、旅行の途中、広島に立ち寄り、久しぶりに原爆資料館をおとすれた。説明もつぶさに読みながら展示品を見てまわった。今更のように無量のおもいがこみあげてきた。周囲は小中学校の団体の生徒が大勢見学に来ていてざわめいていた。およそ七十年前の弟や私と同じ年頃である。彼らに託された日本の将来はどうなっているのだろうか。世界に知られた不戦の国、世界中に平和を発信しつづける国となつているよう切に祈らずにはおれなかった。無念の思いで亡くなった弟たちの死は、決して無駄になつてはならないと思うのである。



犠牲献金

中高生会

5月4日	16,566円
(ベロニカ苑へ)	
6月1日	7,581円
(ベロニカ苑へ)	
7月13日	8,688円
(ベロニカ苑へ)	

信者動静

2014年4月～7月